



碧南ロータリークラブ週報

第3121回例会 令和7年3月5日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也

●斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

●四つのテスト唱和

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

刈谷市軟式野球連盟 理事長 矢田昌弘様

新入会員入会式

新入会員 楡 孝子君



楡 孝子君

会 長 挨拶

失礼致します。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

2月22日のIMには多くの方に参加していただき、大変盛り上がりまして良かったと思っております。また機会がありましたら、多くの方に参加していただきたいと思います。また、3月2日



鈴木泰博会長

に碧南市民駅伝大会が実施され、多くの関係者の方やボランティアの方のご協力で、無事に終えれたことを大変嬉しく思います。

3月になりまして、季節の話をちょっとさせていただきます。3月は「弥生」なのですが、二十四節気で言うと3月5日から19日頃が「啓蟄（けいちつ）」、3月20日から4月4日頃が「春分」と呼ばれておりまして、五節句では「上巳（じょうし）の節句」、「桃の節句」と言われております。そこで、ひな祭りとお彼岸について少しだけお話しさせていただきます。

ひな祭りの起源は300年頃の古代中国で起こった「上巳節」に遡ると言われております。「上巳（じょうし／じょうみ）」とは旧暦3月の最初の巳の日のことで、のちに行事の日付が変わらないよう3月3日となりましたが、もとは女の子のための行事ではなく、春の訪れを喜び、無病息災を願う厄払いの行事でした。

3月初めは季節の変わり目で、災いをもたらす邪気が入りやすいと考えられておりました。古代中国ではこの日に水辺で穢れを払う習慣があったことから、紙や草で作った人形（ひとがた）で自分の体を撫でて穢れを移し、川や海へ流したりするようになりました。「流し雛」はその名残です。

現在のように段を組んだり、豪華な飾りを施したりするようになったのは江戸時代に入ってからで、江戸初期に京都の御所で盛大なひな祭りが催されて以降、江戸の武家社会にも広まり、庶民の間にも定着したそうです。

雛人形は溶け始めた雪の下から新しい命が芽吹き始める「雨水（うすい）」（2月18日～3月4日頃）に飾ると良縁に恵まれ、早く片付けないと嫁入りが遅くなると言い伝えられ、「啓蟄（けいちつ）」（3月5日～19日頃）には片付けた方がよいと言われております。

春のお彼岸についてですが、春分の日を中日とした前後3日間の計7日間は「春のお彼岸」と言われ、先祖供養にお墓参りに行ったりします。この日にお供えする「ぼた餅」は牡丹の花の呼び名にちなみ、冬を越して古く硬くなった小豆をこしてあんにして作っていたそうです。昼と夜の長さがほぼ等しくなる「春分」を境に、昼の時間が少しずつ長くなります。これが「暑さ寒さも彼岸まで」と言われる所以で、次第に寒さも和らぎます。

段々と暖かくなって良い季節になると思います。これからもよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。3月は150円でございます。
- ・ ガバナー月信3月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ガバナー事務所より「第9回日台ロータリー親善会議 札幌大会のご案内」が届いております。
- ・ 名古屋みらいRCより「例会時間変更のお知らせ」が届いております。
- ・ 刈谷RCより「西三河分区インターシティーミーティング（IM）ご参加のお礼状」が届



大竹密貴幹事

いております。

- ・ 第 22 回碧南市福祉大会において下記の団体より感謝状を拝受しました。
社会福祉法人 碧南市社会福祉協議会 「社会福祉事業への寄付」
社会福祉法人 愛知県共同募金会 「赤い羽根共同募金運動への寄付」
- ・ 本日の例会終了後に第 9 回理事会を 201 号室にて開催致します。役員、理事の方はご出席いただきますよう、よろしくお願い致します。

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 61 名（内出席免除者 14 名の内出席者 14 名）出席者 56 名	
出席対象者 56／61 名	出 席 率 91.80%
欠席者 5 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 3 月もよろしくお願いいたします。
- 鈴木 泰博君 } 2 月 22 日に開催されました西三河分区 I. M にご登録、ご出席を頂き、
杉浦 秀延君 } ありがとうございます。
大竹 密貴君 }
- 杉浦 秀延君 過日、航空会社に就職した次男から突然電話が 1 年半ぶりにありました。異国の地で単身仕事をしており、たまたま目にした会社の機内誌「翼の王国」記事を見たところ、母校 碧南工業高校へ自転車通学途中、西山町の荘厳な佇まいの事業所が頭に浮かび、故郷へきなんに思いをはせることができました。元気な声が聞け、家内が喜んでいました。ヤマシン醸造 岡島社長様、ありがとう御座いました。
- 大竹 密貴君 先日、大学の同窓会がありました。卒業して約 40 年、それぞれが様々な人生を歩んできたのだと感慨深いものがありました。28 名の参加者の内、半数が女性だったので、とても華やかで楽しい同窓会でした。
誕生日プレゼントをありがとうございます。
新入会員の楡 孝子さんを紹介いたします。
- 加藤 良邦君 去る 2 月 22 日、碧南市消防協会追弔会法要をつとめさせて頂きました。多数の会員の皆様に大変お世話になりました。有難う御座いました。
- 黒田 昌司君 森田先生にお世話になりました。
- 奥田 雪雄君 本日は、にれ先生のロータリー入会を認めていただき、ありがとうございます。今後とも、やさしく御指導のほど、お願い致します。恋人より！！
- 山中 寛紀君 楡 孝子君の入会、心よりお喜び申し上げます。奥田会長年度から 15 年程続けた入会のお誘いが、やっと実りました。私たち医師会からは私の入会

以来20年ぶりのメンバー加入となります。今後はRCのためしっかり学びご活躍されること、ご祈念致します。

榊原 健君 3月2日(日)第52回碧南市民駅伝・小学生駅伝大会に本会鈴木会長、商工会議所長田会頭には、開会式に御臨席を賜り大変有難うございました。又、本会会員の皆様には御支援戴き、ありがとうございました。大会は無事終了致しましたことを御礼と共に御報告させて戴きます。

杉浦 保子君 } 榎 孝子さん、入会ようこそ。女性会員うれしいです!! そこで一句。
鈴木きよみ君 } 「春雨に 負けず入会 笑みの人」
山口日出子君 }

林 俊行君 本日の卓話講師 矢田昌弘様をご紹介します。よろしくお願いいたします。

石川 鋼勇君 } 先日は、鈴木会長、大竹幹事、黒田会長エレクト、永坂副幹事に大変お世話
山崎 太幹君 } になりました。楽しい時間をありがとうございました!

樺山 朋久君 2月20日の日経新聞に瓦の組合の記事が掲載されました。石川県での瓦のリサイクルの内容でしたが、記事内容とは異なり、現実是不採用と聞いています。

長田 康弘君 先日、碧南市消防協会物故者追弔会を執り行うにあたり、毘沙門天妙福寺さんにお世話になりました。加藤良邦さん、ありがとうございました。

牧野 勝俊君 石川鋼勇様、先日のIMにて大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

石川 昌樹君 先日、10年来の友人との別れがありました。今までの思い出を胸に、前に向かって行こうと思います。ファイト!!

榎 孝子君 今日入会する榎 孝子です。よろしくお願い致します。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

2日	杉浦 保子君	16日	黒田 泰弘君	18日	鳥居 靖君
19日	長田 一希君	20日	長松 政孝君	21日	倉内 松雄君

パートナー誕生日

24日	榎 孝子君のご主人様	章尚様	29日	大竹 密貴君の奥様	弥生様
-----	------------	-----	-----	-----------	-----

結婚記念日

3日	亀山 晋次君・知美様	16年	16日	長田 和徳君・真由美様	34年
----	------------	-----	-----	-------------	-----

入会記念日

3日	杉浦 保子君
5日	榎 孝子君
15日	平岩統一郎君

卓 話

「社会人野球と我が人生」

刈谷市軟式野球連盟 理事長 矢田昌弘様



矢田昌弘様

只今ご紹介いただきました矢田昌弘でございます。過分なるご紹介をいただきまして、高揚しておりますので、上手く喋れるかどうか分かりませんが、ロータリーさんの例会にお招きいただきまして、本当にありがとうございます。身に余る光栄でございます。本日は私の野球人生についてお話しさせていただきますので、よろしくお願い致します。

私は昭和 22 年生まれて、今年 79 歳になります。終戦直後の生まれて、時代的には恵まれていたと感じております。私の 1 つ上の世代は戦時中でありまして、子供の数も少なかったのですが、私の世代は人数が多過ぎず少な過ぎずという環境でした。そのため、運動をする機会や学校へ進学する際にも比較的恵まれておりました。

私の小さい頃は運動には優れていたと思うんですけども、小学校の時は今のような少年野球チームがある時代ではなく、町内での遊びを通じて走り回っていた記憶しかございません。本格的に野球と関わるようになったのは中学生からです。

中学に入学した当時、2 年生の野球部員の先輩が 4、5 名しかおらず、私たち 1 年生が 14、15 名入学したことで、ようやく野球チームを結成できました。その中で、3 年生には岐阜高校や岐阜商業に進み、のちに甲子園に出場する素晴らしい先輩方がいらっしゃいました。特に岐阜商業に進んだ先輩は甲子園に 3 回出場し、その影響もあって私も岐阜商業への進学を希望しておりました。

しかし、10 月頃に校長室に呼ばれて、別の高校から特待生としての誘いを受けました。月謝免除という特典がありまして、結局その高校を選びました。その高校では私と同様に 20 数名の特待生が入学しまして、その中からのちに阪神タイガースと中日ドラゴンズに入団した同級生も出ました。非常に良い選手がたくさん揃って甲子園を目指そうということで頑張っておりましたが、3 年間やりまして準決勝まではいきましたが、あと一歩のところであつて甲子園出場は叶いませんでした。それでも、高校時代は 4 番バッターとして活躍させていただき、地元の新聞にも取り上げていただきました。

高校卒業後は野球の道を歩みたいという思いから、ノンプロ野球チームからの誘いを受けました。最初に誘われたのは浜松にある河合楽器でした。当時はピッチャーかショートでなければ、良い条件の企業には入れないという状況でした。私はたまたまショートを守っておりましたので、その条件に当てはまったことは恵まれていたのかなと感じました。

セレクションを受けるために河合楽器を訪れましたが、残念ながら 1 日目で帰されてしまいました。ちなみにその時に採用されたのが武上四郎さんで、のちにサンケイアトムズに入られて、今は東京ヤクルトスワローズにチーム名が変わりましたが、監督もやられ、巨人で

長島監督の時のヘッドコーチもやられました。

その後、東邦ガスや日通名古屋からも誘いがございましたが、兄の助言もあって断りました。最終的に私が希望したのは三菱重工名古屋（当時は新三菱重工名古屋）でした。都市対抗野球にも出場できるという思いから志望しました。セレクションの日はたまたま調子が良くて、採用が決まりました。

しかし、その後に友人の紹介で名古屋精糖のセレクションも受けることになりました。当初は軟式野球チームということで気が乗らなかったのですが、兄の強い勧めもありまして、最終的に名古屋精糖への入社を決めました。この決断に学校側は激しく怒り、校長室で2日間立たされるという厳しい処分を受けました。

昭和40年4月に名古屋精糖に入社しましたが、このチームは前年に日本一になった強豪チームでした。岐阜国体では初めて国体に出場し、3位入賞を果たしました。翌年の大分国体では雪辱を果たし、2度目の全国制覇を達成しました。名古屋精糖では恵まれた環境で野球に打ち込むことができました。当時の労働時間は週18時間で、午前中は練習、午後は仕事という恵まれた環境でした。専用球場と合宿所がありまして、野球に集中できる環境が整っていました。

名古屋精糖を退社後、1年間東京へ転勤しましたが、その間に私の元マネージャーが小林記録紙に就職しまして、「小林も強くしたい。」と誘ってくれました。最初は断っていましたが、1年後に小林記録紙へ入社することになりました。

小林記録紙時代の昭和43年には61試合で93盗塁、昭和44年には44試合で77盗塁、昭和45年には52試合で92盗塁という記録を残しました。昭和45年には西京極球場で行われた全国大会で優勝しまして、同年8月には神宮球場でも優勝しました。昭和44年には小林記録紙が初めて長崎国体で優勝しました。この試合では元チームメイトが所属する住友軽金属と対戦しまして、私は4打数4安打3打点の活躍で勝利に貢献しました。小林記録紙は昭和43年～45年にかけて全国屈指のチームへと成長しました。昭和46年には優秀なピッチャーが入部しまして、さらに強化されました。

私は30歳の時、昭和50年に監督を仰せつかりました。監督としての基本方針は「社会人野球では仕事が一番大切」というものでした。名古屋精糖時代に学んだ「礼儀をわきまえて行動し、従業員の模範になれ」、「挨拶は正しく行え」という教えを大切にしてきました。選手たちには「職場で人気者になれ」と常に伝えておりました。野球だけでお給料をもらっているわけではないので、職場での評価も大切だからです。また、礼節を重んじ、国歌斉唱の際には帽子を取って直立不動で敬意を表し、審判に対しても礼儀正しく接するよう指導しました。

監督としての20年間で全国優勝を32回達成しました。これは年間に平均して1.6回のペースです。当時、軟式野球の大会は愛知県内で7～8つありましたが、その中でも全国健康保険軟式野球大会では4連覇を達成しまして、この記録は大会終了まで破られることはありませんでした。

私は38歳まで現役で活躍し、その後も野球界に携わり続けております。現在78歳になりますが、1年たりとも野球から離れることなく、今日まで野球と共に歩んでまいりました。名古屋精糖で学んだことが私の人生の基盤となりまして、今日まで野球界で活躍できているの

は本当に恵まれた幸せな人生だったと感じております。

本日は自分にとっても昔を懐かしむことができまして、非常に楽しくお話しさせていただきました。皆様にとっては非常に退屈な時間だったかなあと思いますけれども、皆様方の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和7年3月19日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和7年3月26日（水）卓話「ワカモノミライデパート」

高校生百貨店・ワカモノミライデパート 高田千鶴氏